



侯師走の候に

この一年を振り返りますと、格別に美しく咲いた桜の春。長く続いた暑い夏。長年続けて来たインドの貧困家庭の成績優秀生徒たちへの奨学金贈呈式に今回初めて出席出来た秋。サッカー、卓球への支援。・・・一年の速さを感じるばかりです。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ☆青少年育成

### ○厚木サッカー

十一月一日厚木商工会議所に於いて厚木サッカー50周年の祝賀会が催され、支援する当協会から2名が参加し感謝状をいただきました。続けることの大切さを改めて感じております。

## ☆奨学金贈呈式に臨み

### (インド)

2025年9月21日ビシヤカパトナムで行われた当協会からの奨学金贈呈式に日本から22名が参加いたしました。

### ○歓迎を受けて (S・I)

インドボランティアの旅で9月19日朝、羽田を出発しました。

## 無償の愛 無償行為

神は全てご存知でこれに答えてくださいます。

翌20日にビシヤカパトナムに着きました。

空港に到着したら、ロータリークラブの方々が大きな横断幕を掲げて私達、エル・エンジェルボランティアを出迎え、一人ひとりにレイとインドの綺麗な布を首にかけて歓迎して下さいました。

横断幕には、じゆうたんのような広大な芝グラの後方に雄大な富士山がそびえている絵が描かれていました。

長い飛行機で少し疲れ気味の心にスーとした清涼感が流れ、インドに来たという思いとロータリークラブの方々が私達エル・エンジェルボランティアを出迎える為に心を尽くして下さったお気持ちが嬉しくてそのお心に喜びが湧きました。ありがとうございます。



### ○奨学金贈呈式 (A・I)

2025・9・21インド、ビシヤカパトナムにて貧困家庭の中から成績優秀な30名の生徒を対象とした当協会からの奨学金贈呈式が行われました。

会場には金色の布で覆われた椅子の上にブルーのリボンが結ばれ、華やかな中に温かみのある雰囲気漂っていました。正面には「奨学金贈呈式」と大きく書かれたボードが掲げられ、その下にはエル・エンジェル国際ボランティア協会とロータリークラブの文字、

更にそれぞれのロゴ、そして日本とインド両国の国旗が並び、国際的な交流の場である事を感じさせました。

式はロータリークラブの代表者のご挨拶から始まり、インド国歌斉唱に続き、エル・エンジェルのメンバーで「君が代」を斉唱し、厳かな空気に包れた時間となりました。次に女子生徒による合唱「しあわせになるように」が披露され、繰り返し練習を重ねた事が伝わる、心温まる歌声が響きました。

いよいよメインイベントである授与式が始まりました。名前を呼ばれた生徒達は一人ずつステージに上がり、奨学金を当協会の会長より受け取ると、5人ずつ横一列に並びました。

エル・エンジェルのメンバーからは、日本から準備してきたストラップ付3色ボールペン、キャンデーブーケ、お菓子の詰め合わせ、文具セット、保冷バックをお祝いの言葉と共に手渡ししました。

どの生徒さんも白い歯を見せ、嬉しそうに瞳を輝かせ、将来は医者、教師、警察官、エンジニアになりたいと話してくれた事が印象的でした。

ここで、長浦会長より挨拶がありました。受賞された生徒の皆さんに対し、改めて祝辞を述べられたあと、ビシヤカパトナムロータ

リーククラブの皆様に対して、式典実現へのご尽力に感謝の意を伝えられました。そして「生徒の皆さんがこの先、インド国や世界の為に活躍される事を希望します」と温かい言葉で締めくくられました。

会長の挨拶が終わると、会場の雰囲気は一変し、ロータリークラブの方々が歌と踊りのプロを招き、生徒さんやエル・エンジェルズのメンバーもステージに上がり共に踊り会場内はとても盛り上がりました。

式が終わると、生徒の皆さんはリラックスした表情で記念撮影を楽しんでいました。

経済的困難を抱えながらも、学ぶ意欲を持ち続ける生徒さん達の姿に深く感動しました。

環境を言い訳にせず、目的を持って明るく前を向く姿勢こそ、神の祝福に繋がるのだと感じた心に残る式典でした。



## ○インド旅行ツアーに参加して(C・F)

久しぶりのボランティアと名の付くツアー、自分と向き合い、お互い思いやることを大切にしたい時間でした。セレモニーの準備は、先導してくださった方の細かい計画のお

かげで、お菓子や文具を袋に詰めたり、キャンディブーケを作ったりが流れるようにさくさく作業できました。そのかいもあり、セレモニー当日は生徒たちや先生方に喜んで頂き、中には目に涙を浮かべている子もいました。それを見て心が震えて喜んでいる自分がいました。受賞者の皆さんが能力を思い切り花開かせ、社会を支える存在になることを心から願っています。新しい参加者を交えてのツアーでしたが、居心地よくお気遣い頂き、とても楽しくていい思い出になりました。ご一緒していただき、有難うございました。

インドツアーでは、自分と向き合い、いろいろな気づきがありました。バスに揺られていくつもの街を通る間、店番をしている人や、隣を走るバスやバイクの人と目が合うと手を振りました。すると、相手もこっとして振り返ってくれます。ふと「手を振る」という行動は、世界共通で心を通わせるサインだと気づきました。国によっては同じ動作が失礼になったり、威嚇の意味を持つこともあるので。

過去に他の国を旅したときも、バスの中から手を振ると、振り返してくれらるといった小さな交流を経験していました。一度、日本で信号待ちを

している時、外国人団体のバスに軽く手を振ったことがあります。窓際に座っていた人が気づいて、手を振り返してくれました。日本では少し恥ずかしいもので、もうやっています。心の中では今も温かい記憶が残っています。

今回のツアーでも、いろいろありました。ビシヤカパトナムからバスに揺られて約5時間半。山の上の、コーヒーで有名なアラクバレーに一泊しました。ところが、ホテルはまだ建設中で、ロビーにはつかえ棒が立ち、レストランも二つのうち一つは未完成。できたばかりの部屋に泊まらせていただく、という状況でした。各部屋にもいろいろと「サプライズ」がありました。エアコンからの水漏れ、お湯が出ない、トイレレットペーパーがない、テレビは映らない、wifiはロビーでしかつかない、がない……。それでもここが日本人の私たちには一番良いと、ジャナさんが手配してくださった場所です。不思議と、これもインドは面白いなあと、文句を言うより、いかに面白がるか——そんなゲームのような時間を過ごしたような気がしません。次に訪れる機会があったら、あのホテルがどんな完成形になっているのか。それを見に行くのも、ちょ

つと楽しみだったります。

### ○生徒からのお礼状

P・D 10年生



親愛なるエル・エンジェル国際ボランティア協会様、奨学金のお礼を申し上げます。この手紙を書いていきます。私の両親は収入が少なく、私を教育するために苦労しています。このお金のお陰で勉強を続けることができ、私は順調に勉強し、クラスでトップの成績を収めています。この支援に感謝しています。

K・V 10年生



私はこの奨学金を実力主義で選んでくれた組織にとっても感謝しています。これは私の勉強にとっても役立ちます。私達は部族地域に住んでおり、経済的にとても貧しいです。この金額は私の勉強に非常に役立ちます。もう一度、エル・エンジェルに感謝します。

マヘシユ 10年生



親愛なるエル・エンジェル国際ボランティア協会様この2年間奨学金をくださり本当に感謝しています。これは私の教育要件満たすことで学業の向上に大いに役立っています。また、私はホッケー選手なので、この機会にホッケーのバットやその他の用具を購入する予定です。貴団体の会員の皆様に心から感謝申し上げます。

### 付添いの先生から

・・・経済的に困窮な家庭にとって非常に助けとなり、親の負担を軽減できたこと述べています。この奨学金が多くの学生にとって励みとなり、今後も長く続くことを願っています。

### ○初めてのインド

小学4年生 (N・A)

私はこの度、表しよう式に参加するため初めてインドに連れて行っていただきました。インドのことはお話をテレビでは聞いた見たりしたことがあったけれど、実際に行つて

みると、町を牛や首輪のない犬が歩いていた、クラクシオンが鳴り続いていた、人が道路で寝ていたり、とてもおどろくことがありました。でも、ビジャカパトナムの空港に着くと、インドの方々が温かくむかえて下さつてとても嬉しかったです。表しよう式の前の夜には、生徒のみなさんにプレゼントするキャンディーブーケをボランティアの皆さんと作りました。その時は、「インドの方々喜んでくださるかなあ」と半分ワクワク、半分ドキドキしていました。表彰式の朝には、日本の色々なお菓子の詰め合わせも作って、生徒の皆さんにプレゼントすることができました。



生徒の皆さんは、初めて会ったのにとてもフレンドリーで、一緒に写真をとったりダンスをしたりして、とても楽しかったです。

4日目は、山間の村にある学校も訪れました。そこでは、日本とは違って安全とは言えないお水を飲んで、体調をくずす子どもたちがいること



を知りました。生徒のみなさんが一刻も早く安全なお水を飲むことができるといいなと思います。

私はインドの旅を通して、帰りたくないと思うほどインドが大好きになりました。インドの方々は本当に優しいです。レストランでは店員さんがテルグ語を書いて教えて下さったり、辛いものが苦手な私のためにそつとケチャップを持ってきて下さったり、空港ではゴミ捨て場が分からなくて困っていた私を見て、清掃員の方がニコツとしてゴミを捨てて下さいました。インドの方々は困っている人がいたら、自然に、一心に、助けようとして下さいます。私もそんな人になりたいと思いました。

旅行中、エル・エンジェルの皆様にはたくさん助けていただいたり、楽しませていただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。またインドに行きたいです。

## 『分け合う心、寄り添う力』 ①

私の住む横浜は、家を出て右へ行けば関内、左へ行けばみなとみらい。健康だったころは、夜のキラキラとしたみなとみらいを目指してよくウォーキングをしていました。ライトアップされた街並みを眺めながら歩くと、心まで明るくなるようで、私にとって大切な時間でした。

けれどある日、気分を変えて関内方面に歩いてみようと思った帰り道、地下道に入ると、そこには驚く光景がありました。通路の片側に段ボールハウスがずらりと並んでいたのです。こんな場所で暮らしている人たちがいるなんて——知らなかった現実に、胸がざわつきました。

その後、病を患い、ウォーキングをすることもなくなり、みなとみらいの華やかさにも、あの地下道の現実にも触れないまま月日が流れました。ところが今年の6月、真夏のような暑さの日々の中で、ふとあの地下道の人たちのことを思い出したのです。「あの暑さの中で、どうしているだろう……」——いても立ってもいられず、様子を見に行きました。

地下は日差しこそ避けられますが、空気がこもり、やはり暑い。それでも私はその日、何もできずに帰ってきてしまいました。「何かをしたら失礼かもしれない」——そんな気持ちがあったのです。

しかし数日後、さらに暑さが増した日、思い切って再び関内へ向かいました。コンビニに凍ったスポーツドリンクが11本あったので、それを購入し、地下の人たちに「熱中症に気をつけてくださいね」と声をかけながら配りました。留守の方全員分には足りず、在宅の方たちに「居ない人の分を置こうと思ったけど足りなかったの、今日は居る方でもう1本ずつどうぞ」と渡しました。

その後、お弁当を買って地下に戻ると、先ほど留守にしていたご婦人が戻っていました。お弁当を差し出すと、「さっき2本ももらったからと、あの人が1本分けてくれました。ありがとうございます」と凍ったスポーツドリンクを私に見せました。 次号へ続く (S・I)

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願いいたします。

- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 口座番号 68107191
- ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
- 三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会  
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

## ☆支える会より

○秋の子ども祭りに参加

10月19日(日)町田第五小学校で子ども祭りに参加させていただきました。百円のくじ五百個、二百円のガチャポンを四種類、手作り品、スイーツデコの手作り体験を準備しました。

毎回お手伝いしてくださる方のお孫さん小学生姉弟が初参加、くじを手伝ってくれました。5年生の姉が「お店で働いてみて、お客さんに笑顔で対応して、逆に笑顔になったりしてもらってうれしかったし、楽しかった」と感想を書いてくれました。

ボランティアの醍醐味を感じてもらえてこちらも嬉しかったです。途中で雨が降ってきたものの少しして止み、売上は、83,320円でした。

楽しい時間を過ごせ、心もリフレッシュできました。ありがとうございます。

## ☆編集後記

9月にインドで開催された奨学金贈呈式、小学4年生のNさんが参加。その物怖じしない人懐っこい性格で老若男女問わず多くの日本とインドの方々のハートをキャッチ。アイドル並みの写真撮影会。食事後には「肩を揉ませてください」と皆さんの間を回って肩もみ、相手を思いやる心の深さに感動。大いに癒されると共に、彼女の未来が楽しみに。(Y・E)